

概要

NetworkManager はデスクトップやノート PC には便利だが、サーバ用途ではマルチセッションが出来ないなどの問題がある。

そのため、特に必要が無い場合は NetworkManager を無効にして従来のネットワーク設定をする。

NetworkManager を無効にする

```
systemctl stop NetworkManager
systemctl disable NetworkManager
```

従来の network を使う

準備

pppoe を使う場合は、pppoe-setup の利用の有無にかかわらず

```
rp-pppoe
```

が必要。インストールされていない場合はインストールする。

```
yum install rp-pppoe
```

デフォルトルートについて

```
DEFROUTE=yes
```

にするとそのインターフェイスがデフォルトのルートになる。

基本的に 1 つのインターフェイスのみをデフォルトルートにして、それ以外は DEFROUTE=no にする。

結果的にどんなルートになっているかは route コマンドで確認できる。

NetworkManager の GUI の設定では「そのネットワーク上のリソースのためにのみこの接続を使う」にチェック外すとデフォルトルート扱いになる。

DHCP 時に DNS を変更させない

DHCP を有効にすると、DHCP サーバから指定された DNS で /etc/resolv.conf が書き換えられる。

DHCP が有効な状態で DNS を変更したくない場合は

```
PEERDNS=no
```

を指定する。

設定ファイル編集

```
/etc/sysconfig/network-scripts/
```

以下に

```
ifcfg-eno1
```

などの設定ファイルを作成する。

例

```
NM_CONTROLLED=no
TYPE=Ethernet
BOOTPROTO=none
DEFROUTE=no
NAME=eno1
DEVICE=eno1
ONBOOT=yes
NETMASK=255.255.255.0
IPADDR=192.168.0.1
HWADDR=xx:xx:xx:xx:xx:xx
IPV4_FAILURE_FATAL=no
IPV6INIT=no
```

例 2

```
TYPE=Ethernet
BOOTPROTO=dhcp
DEFROUTE=no
NAME=enp7s0
DEVICE=enp7s0
ONBOOT=no
HWADDR=xx:xx:xx:xx:xx:xx
PROXY_METHOD=none
BROWSER_ONLY=no
IPV4_FAILURE_FATAL=no
IPV6INIT=no
```

例 PPPOE

```
TYPE=xDSL
DEVICE=ppp0
BOOTPROTO=dialup
ONBOOT=yes
USERCTL=no
IPV6INIT=no
PEERDNS=no
PIDFILE=/var/run/pppoe-ppp0.pid
FIREWALL=NONE
PING=.
PPPOE_TIMEOUT=80
LCP_FAILURE=3
LCP_INTERVAL=20
CLAMPMSS=1412
CONNECT_POLL=6
CONNECT_TIMEOUT=60
PERSIST=no
SYNCHRONOUS=no
DEFROUTE=yes
USER="xxx@xxxxxx"
ETH=enp7s0
PROVIDER=OCN
DEMAND=no
```

例 フレッツ情報サイト用

```
TYPE=xDSL
DEVICE=ppp1
BOOTPROTO=dialup
ONBOOT=yes
USERCTL=no
```

```
IPV6INIT=no
PEERDNS=no
PIDFILE=/var/run/pppoe-ppp1.pid
FIREWALL=NONE
PING=.
PPPOE_TIMEOUT=80
LCP_FAILURE=3
LCP_INTERVAL=20
CLAMPMSS=1412
CONNECT_POLL=6
CONNECT_TIMEOUT=60
PERSIST=no
SYNCHRONOUS=no
DEFROUTE=no
USER="guest@flets"
ETH=enp7s0
PROVIDER=Flets
DEMAND=no
```

PPPOE 接続用のパスワード設定

PPPOE の接続用パスワードは

```
/etc/ppp/chap-secrets
/etc/ppp/pap-secrets
```

に保存されている。これを直接編集する。

例えば、フレッツ接続用の情報は以下のように編集する。

```
"guest@flets" * "guest"
```

ツールを使って編集する場合

PPPOE に関しては直接設定ファイルを書き換える他に、ツールを使って設定する方法がある。

設定

```
pppoe-setup
```

指示に従って答えていくと ifcfg-xxxx が作成される。また、接続用の情報が

```
/etc/ppp/chap-secrets
/etc/ppp/pap-secrets
```

に書き込まれる。